

しっかりと議会のチェック機能果たし みなさんの**願い実現に全力**

大和田駅エレベーター設置へ

駅舎へのエレベーターが昨年度の古川橋駅に続き大和田駅にも設置されることとなりました。議員団は交通バリアフリー法に基づく「基本構想」の策定を繰り返し議会でも求め、多くの市民の皆さんの願いが託されたエレベーター設置に関する署名を添えて京阪電鉄と門真市に要望するなど、実現に力を尽くしてきました。



古川橋駅に設置されたエレベーター

3月議会では、「少人数行政」「第2次行革計画」に基づいて、粗大ごみの有料化、長寿祝金等制度の後退、保育所民営化の推進など、市民サービス後退や負担増押し付けが与党の賛成多数で決定しました。共産党議員団は、市民の切実な願いを議会でも取り上げ、議会のチェック機能果たし、行革計画の全面実施許さず、要求実現に全力をあげました。

普通ごみ有料化を先のばし

4月実施の粗大ごみ有料化についての市民への説明会では、不法投棄への対策をはじめ、さまざまな意見が出されました。党議員団は普通ごみの有料化について、まず事業系ごみの抜本的な減量に力を入れるべきであることを主張してきました。こうしたなかで、第2次行革推進計画では家庭系普通ごみの有料化については7年間「検討」と先延ばしされることとなりました。



市議会議員
井上 まり子



市議会議員・議員団幹事長
福田 英彦



市議会議員
亀井 あつし



市議会議員・議員団長
吉松 正憲

後期高齢者医療制度は ただちに廃止を!

消えた年金記録問題がまだまだ未解決のまま、年金の支給額は減額されているのに、後期高齢者医療制度がスタートし、4月15日の年金から保険料が「天引き」されました。門真市でも担当窓口などに苦情や問い合わせが殺到しています。

年金天引きは「命」の天引き

門真市で後期高齢者医療制度へ移行させられるのは8500人。そのうち保険料を年金から天引きされるのは5800人。これまでは納付相談ができましたが、これからは否応なしに天引きされ、残った年金で生活をやりくり。保険料の年金天引きはまさに「命」の天引きです。

包括制で医療抑制

新たに導入される「後期高齢者診療料」という診療報酬では1か月の医療費は定額の6000円。必要な検査や治療を受けると、病院は赤字になり、治療を制限せざるを得なくなります。通院、入院、終末期に至るまで、差別的な診療報酬で、高齢者には「早く死ね」と言わんばかりの最悪の制度です。

一年滞納で保険証の取り上げ

年額18万円以下の方や介護保険料との合計が年金の半分以上を占める方や無年金の方は直接納付することとなりますが、少ない年金からの保険料納付は厳しいものです。しかし、1年滞納すると保険証を取り上げる「ペナルティー」が強行されます。これ以上の高齢者いじめはありません。

「これ以上切りつめられない」と怒り

Aさんは70歳。ご主人は76歳で後期高齢者医療制度に移ります。これまで国保で一緒に保険証だったのが、今度は別々。保険料がどうなるのか、10月からはAさんも国保料が年金から天引き。さらに来年4月からは医療費の窓口負担が二割で倍に。そしてその翌年度は保険料の見直し。「これ以上生活を切りつめられない」と怒りていっぱいです。

年金問題未解決のまま

わずかな年金から保険料天引き

